



第2回

全国ひまわり杯グラウンド・ゴルフ大会



さわやかな秋晴れとなった10月11日の2日間、「第2回全国ひまわり杯グラウンド・ゴルフ大会」がひまわりグラウンド・ゴルフ場で行われ、町内外から320名が参加しました。

県外からは秋田県、福島県、神奈川県からも参加。参加者は全員60歳以上で最高91歳の方もいました。

開会式では大津町長が「中山町のひまわりグラウンド・ゴルフ場は全国に誇れる中山町のスポーツ施設で中山町がグラウンド・ゴルフの振興の町であることを全国に発信していきたい。日ごろの練習の成果を存分



に発揮していただくとともに、プレイヤー同士の親睦と交流を深め、健康の輪を広げ、有意義な時間を過ごしていただきたい」と参加者を激励。



競技が始まると、参加者たちは48のチームに分かれ、各8ホール6つのコースを6〜7人1組でまわり、日ごろの練習の成果を競いながら親交を深め、ところどころで歓声や笑い声が聞こえるなど、大変な盛り上がりを見せていました。大会の最後には順位を決定するため、成績上位者によるプレーオフが行われました。競技を終えた参加者が続々とプレーオフ会場に集まり、大勢に見守られながら、緊張のプレーオフとなりましたが、出場者は見事なプレーを見せていました。

県外からの参加者からは「天気もよく、広々としたグラウンドで気持ちいい。プレーしやすくてとても楽しかった」と好評でした。



大勢の参加者に見守られながらのプレーオフ戦



秋田県にかほ市から参加し、みごと3位の佐藤紀夫さん「年2回ほど中山町のグラウンド・ゴルフ場に来ていますが、とても楽しく気持ちよくプレーできます。来年もまた参加したいです」

【大会結果】

2日間お疲れ様でした。来年も参加お待ちしております。(写真左より)

- 優勝・佐藤照子さん (山形市)
- 2位・小関栄男さん (中山町)
- 3位・佐藤紀夫さん (にかほ市)
- 4位・野口とき子さん (中山町)
- 5位・芦野美井子さん (村山市)



新田町を主会場に町防災訓練

10月28日、新田町地区と長崎小学校を主会場に中山町防災訓練が行われました。

訓練は「午前8時40分に山形盆地断層帯を震源域とする地震が発生し、町では震度6強を観測。町内全域で建物の倒壊、多数の死傷者が出たほか、路面変状による電気、通信、水道等のライフラインに甚大な被害が生じ、数箇所です時に火災が発生した」ことを想定。町、消防団および地区住民が一体となって訓練を開始しました。

主会場となった新田町地区では今年から自主防災会を結成。参加した地区民の皆さんは訓練が始まると、消防団の避難指示の広報を聞き、一時避難所から長崎小学校

までみんなで協力しながら集団避難しました。

その後、長崎小学校グラウンドや体育館において、火災に備えて消火器・消火栓・バケツリレーでの消火を体験する初期消火訓練、負傷者の応急手当訓練、応急給食(炊き出し)訓練、給水車による応急給水訓練など本番さながらの訓練を行いました。

参加した地区民の方々は「自分たちの地区は自分たちで守る」という意気込みで、子どもから大人まで真剣に取り組み、災害に対する理解と意識を高めていきました。

万が一の事態が発生したときに生きるのがこうした訓練です。皆さんも、家庭で非常用持ち出し袋などを用意し、定期的に中身を確認したり、地元の防災訓練や研修会に積極的に参加するなど、日ごろからできる防災対策を行っておきましょう。

バケツリレーでの消火体験



消火器を使っでの消火訓練



応急手当訓練

戦没者追悼式

10月5日、中山町戦没者追悼式が総合体育館武道場で行われ、遺族や来賓などが参列しました。式では英霊の冥福を祈って黙とうが捧げられ、大津町長が「平和で豊かな今日においてこそ、戦争の悲惨さやそこに幾多の尊い犠牲があったことを謙虚に振り返り、一人ひとりが恒久平和のために努力をしていかなければなりません」と式辞を述べました。

式の最後には参列者全員が白菊を捧げて手を合わせ、戦没者の冥福を祈りました。終戦から67年が過ぎましたが、戦争という悲惨な歴史を繰り返すことのないよう、平和への思いを新たにしました。



新田町自主防災会長 丸子勝利さん



新田町は自主防災会を今年結成したばかりなので、この防災訓練を機に日々地区民の方の防災意識を高めていきたいです。